

令和2年7月28日 令和2年度第2回流山市福祉施策審議会 当日配布資料

# 介護人材に関する施策について

流山市役所 介護支援課

## 第7期計画における介護人材に関する施策について

- ▶ 第7期介護保険事業計画（平成30年から令和2年）の推計値  
いわゆる団塊の世代が75歳以上となる2025年までに必要な介護  
人材の人数は、**おおよそ237万人から249万人**  
▶ **介護人材の確保に取り組む必要がある**

流山市は第7期の介護人材の確保に関する取組みとして、「介護職員の育成」「介護施設への就労支援」「介護の担い手のすそ野拡大による人材確保」「介護に関する情報、技術の習得による介護者の支援」といった事業を実施しました。

## 第8期計画における介護人材に関する施策について

- ▶ 第7期計画「介護サービス見込み量」に基づき予測された推計値  
2025年までに必要とされる介護人材数は、**おおよそ245万人**  
※第7期計画策定時の推計値「おおよそ237万人から249万人」
  - ▶ **継続して介護人材の確保に取り組む必要がある**
- ▶ 2025年以降は生産年齢人口の減少が懸念される  
厚生労働省の介護人材確保地域戦略会議における人口推計では、  
2025年度から2040年度にかけて、「現役世代の減少」が懸念され  
ている。
  - ▶ **新規の介護人材の確保が困難になる可能性が高い**
  - ▶ **介護人材の定着、職場環境の改善に力を入れる必要がある**

## ①介護職員初任者・実務者研修等受講費助成事業

### 【現状】

市内に就業する介護職員の育成と、介護施設等への就労を支援することを目的として、介護職員初任者・実務者研修受講者のうち、研修終了後、3か月以上市内の介護保険施設・事業所に勤務している方を対象に研修受講費用の一部を助成しています。

(介護職員初任者・実務者研修受講費助成事業として実施)

### 【事業実績】

申請者数：

平成30年度 43人

令和元年度 22人

令和2年度（7月時点）13人

# ①介護職員初任者・実務者研修等受講費助成事業

## 【第8期の取組み】

初任者・実務者研修だけでなく、**新たに実践的な専門技術の習得による介護人材の育成や、職員のキャリアアップのために喀痰吸引等研修（1・2号）の受講者に対する受講費等の一部助成を追加します。**

《喀痰吸引（かくたんきゅういん）等研修とは》

平成24年度より、介護福祉士及び喀痰吸引等研修を受けた介護職員等においては、医療や看護との連携による安全確保が図られていることなど、一定の条件の下で、下記の医療行為を実施できることになりました。

①たんの吸引：痰や唾液、鼻汁を機械で吸引するもの

②経管栄養：チューブやカテーテルを使って胃や腸に栄養を直接注入するもの

## ②介護人材確保・定着支援事業

### 【現状】

介護職を離職中の人やキャリアアップを目指している人、又は介護職に関心のある市民等を対象に、在宅介護の知識や情報、技術等を習得する講座を設け、介護を担うことに対しての心構えや意識啓発につながるための事業を市内の介護福祉士養成校に委託し実施しています。

(地域住民への介護理解促進事業として実施)

### 【事業実績】

実施回数：

平成30年度 2回

令和元年度 2回

令和2年度 1回 (予定)

## ②介護人材確保・定着支援事業

### 【第8期の取組み】

介護の担い手のすそ野拡大や、知識・技術の習得の機会（講座）を設けるだけでなく、**介護人材の定着として、新たに研究事例発表会や長期勤続職員の表彰会等を開催し、現役介護職員等の就業意欲の高揚を図りつつ、新規介護人材確保に向けた、職場体験、個別就職相談等を複合的に開催することで、意識の啓発を行います。**

# 流山市における第8期実施事業（予定）

## ① 介護職員初任者・実務者等受講費助成事業

新たに実践的な専門技術の習得による介護人材の育成のため、職員のキャリアアップのために喀痰吸引等研修（1・2号）の受講者に対する受講費等の一部助成を追加します。

## ② 介護人材確保・定着支援事業

介護人材の定着として、新たに研究事例発表会や長期勤続職員の表彰会等を開催し、現役介護職員等の就業意欲の高揚を図りつつ、新規介護人材確保に向けた、職場体験、個別就職相談等を複合的に開催することで、意識の啓発を行います。